

JENESYS2021 日シンガポール・オンライン交流 (社会福祉交流) の記録

1. 概要

【目的】シンガポールで社会福祉を専攻している学生が、シンガポールも直面している少子高齢化をテーマとした聴講、視察、体験を通じ、日本のシンガポールにおける社会福祉への貢献についての理解を深めるとともに、関係者との友好促進を主目的に、本プログラムを実施しました。

【参加者】シンガポールの高校生・専門学校生及び学校関係者 計 97 名

【訪問地】東京都、広島県、大阪府、奈良県、滋賀県

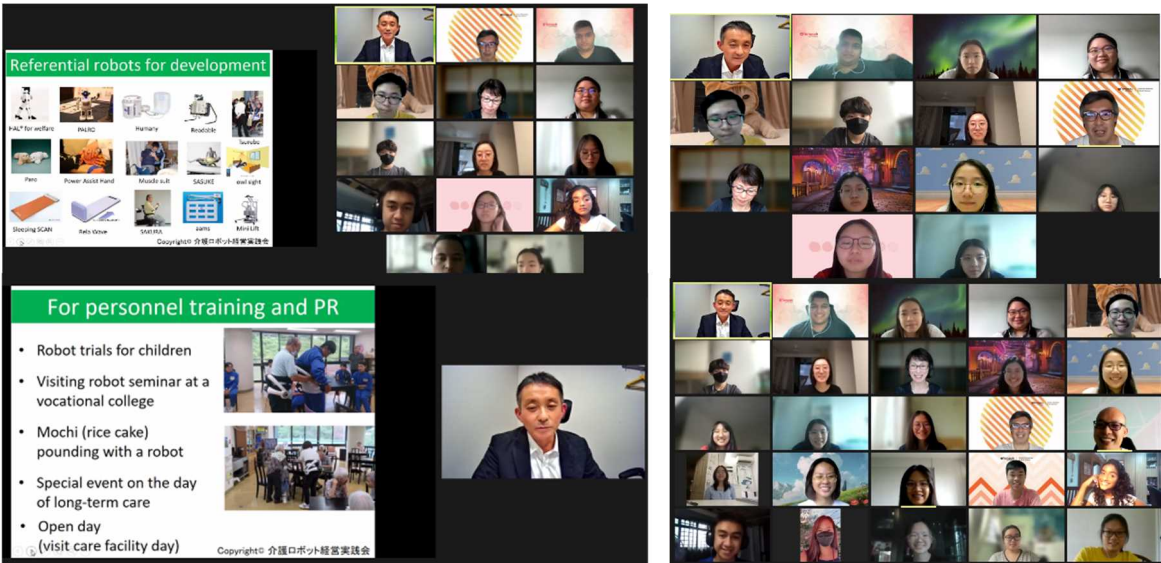
【日程】

日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下 2 日間の参加人数：計 81 名		
2021 年 9 月 30 日 東京都 町田市	【ウェビナー・質疑応答】 1. JENESYS 概要説明 2. 講義 「介護現場におけるロボット等のテクノロジー活用～過去→現在→未来～」 講師：介護ロボット経営実践会 主催/株式会社とげぬき 代表取締役 関口 史郎氏 3. 質疑応答	少子高齢化社会はシンガポールでも社会問題となっていること、シンガポールにおける最先端技術への関心も高いことから、大変熱心に聞き入っていました。「介護だけでなく、学校や保育園へのロボット導入も今後あり得るか」「将来、人からでなくロボットから介護を受ける可能性もあるが、人と人との触れ合いがロボットにとって代わるということについてどのようにお考えか」など、参加者から活発に質問があがりました。
2021 年 11 月 6 日 広島県 呉市	(他のプログラムと合同実施) 【学校交流】 呉工業高等専門学校（広島県）29 名 1. 学校概要、学校生活についての発表 2. グループ別交流会	学校紹介の際は、チャットを使った交流・双方向のやり取りも行われました。また、グループ交流会では、各国の観光名所や特産品の紹介、最近高校生の中で流行しているもの等について、積極的に質疑応答や感想が述べられ、相互理解を深めていました。
以下 5 日間の参加人数：10 名（以下のプログラムは他のプログラムと合同で実施）		
2022 年 3 月 14 日	【動画視聴】 1. 外務省挨拶 2. 事前オリエンテーション	プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。

	3. 南三陸町からのメッセージ 4. 日本文化理解（京都） 5. 日本語学習	
2022 年 3 月 16 日 東京都	【オリエンテーション、ウェビナー・質疑応答】 1. 開会 2. JICE 代表挨拶 3. プログラム内容説明 4. 日本理解講義 「An Introduction to Japanese Culture」 講師：横浜国立大学 准教授 長谷川 健治氏 5. 記念撮影 6. グループ別交流	オリエンテーションでは、参加者のミッションについての質問が数多く出て意欲の高さが感じられました。 日本理解講義では、日本の社会保障制度、高齢化問題、人口減に関する質問等、現代の日本が抱える問題について多くの質問が出ました。また、日本の医療現場で働く外国人が知っておくべき文化背景についても高い興味がうかがえました。
2022 年 3 月 17 日 大阪府	【視察】 1. 開会 2. プレゼンテーション講師：公益財団法人大阪府看護協会 会長 高橋 弘枝氏 3. 質疑応答 4. 集合写真撮影 5. 振り返り（グループ別）	日本の医療現状や制度、大阪府看護協会の取り組みやコロナ禍における対応などについて紹介がありました。看護師、介護士として日本での就労に関心がある参加者もあり、日本の医療現場や仕組み、日本での外国人人材受け入れや就労制度なども含め数多くの質問がありました。
2022 年 3 月 19 日 大阪府、奈良県、滋賀県	【ホームビジット】 1. 訪問先の地域紹介（大阪、奈良、滋賀） 2. ホストファミリー（4 家庭）の紹介 3. ホストファミリーとの交流 4. ホストファミリー代表、参加者代表（各グループ）挨拶 5. グループ写真 6. 振り返り	ホストファミリーは事前に様々な準備をして訪日団を迎え、家の中の様子や食事の際の習慣等、クイズや質問を交えながら丁寧に紹介していました。 参加者は、日本人の日常生活を知り、直接日本人家庭と交流する時間を心から楽しみ、「時間が足りない」と声にしていました。
2022 年 3 月 21 日 東京都	【ワークショップ】 1. アクション・プランの作成 2. 報告会に向けてパワーポイント準備	参加者が日々記入していたワークシートをもとに、プログラム後 3 か月以内に実施するアクション・プランの作成に向け話し合いました。また、翌日の報告会に向け、発表者やパワーポイント作成者等の担当を決めるなど、準備を進めました。

2022 年 3 月 22 日 東京都	【報告会】 1. 開会 2. グループ発表 3. 講評・挨拶 4. 記念写真撮影 5. 閉会	このプログラムに参加して気づいたこと、学んだことをもとに、参加者それぞれの興味分野（日本文化、観光、娯楽、日本語、ヘルスケアなど）に応じて、日本の魅力をどのように発信するか発表しました。他のグループの発表時には、賛辞のメッセージを送り合うなど、熱心に聴いておりました。
---------------------------	--	--

2. 記録写真

		
2021 年 9 月 30 日【ウェビナー・質疑応答】介護ロボット経営実践会		
		
2021 年 11 月 6 日【学校交流】呉工業高等専門学校（広島県）		
An Introduction to Japanese Culture Kenji Hasegawa (Yokohama National University)		
2022 年 3 月 16 日【日本理解講義】 横浜国立大学	2022 年 3 月 17 日【視察】大阪府看護協会	

	
2022 年 3 月 19 日【ホームビジット】家庭との交流の様子	
	
2022 年 3 月 22 日【報告会】 アクション・プランの発表	2022 年 3 月 22 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 参加大学生

- ・オンラインプログラムは、学びが多くとても良かったです。介護福祉におけるロボットの活用について新しい知識を得ました。
- ・日本医療支援、特に介護支援として様々な技術が使われていることを知り、とてもためになりました。介護サービスの提供や、高齢者支援・高齢者の自立支援を目的として開発された技術が、多くあることを初めて知りました。
- ・プログラムはとても楽しかったです。このプログラムのおかげで、昨今のような先を見通すことが難しい時期であっても、シンガポールと日本の学生がお互いに交流することができたと思います。
- ・この数日間、JENESYS で充実した時間を過ごすことができました。日本について新しい知識をたくさん得ることができました。できることなら日本に行って、学んだことを自分で体験してみたいです。
- ・JENESYS を通して、日本の文化、歴史、医療制度について学ぶことができました。特に、プログラム 3 日目のホームビジットはとても楽しかったです。

◆ 参加高校生

- ・オンラインプログラムは示唆に富んでいました。日本が社会福祉分野に貢献するべく開発した技術について、より理解を深める内容でした。
- ・日本の学生と交流でき本当に良かったと思います。どちらの学生も、お互いから多くを学ぶことができました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

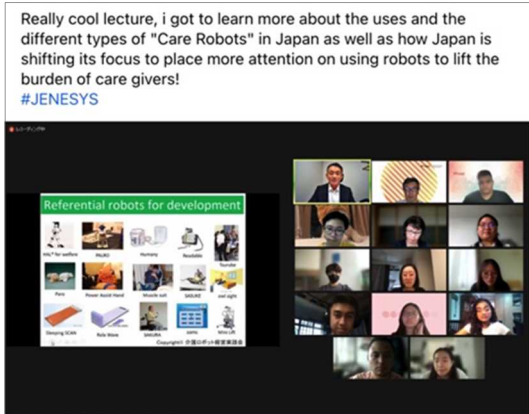
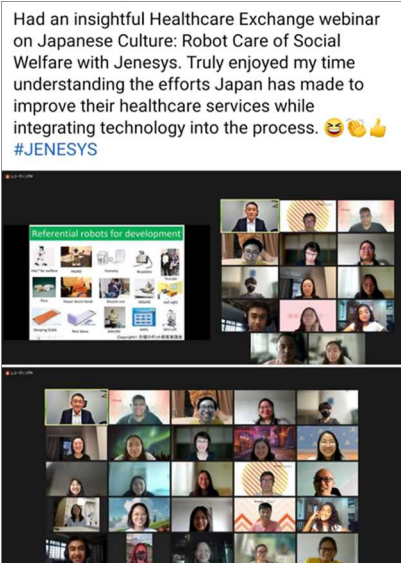
◆ 講師

- ・今回、フィリピンやシンガポールの学生や看護師、介護士の方々と国を超えて交流することができ、大変貴重な機会を与えてくださったことに感謝申し上げます。みなさん大変素敵な笑顔で心が温まりました。
- ・最後に質問の時間がありましたが、もう少し双方向のやり取りがあっても良かったと思います。

◆ 交流校学生

- ・このような海外の方々と交流するイベントに参加したのは2回目でしたが、会話を続けることが難しかったです。もっと勉強して経験を積み、うまく会話できるようになりたいと思いました。
- ・自分のコミュニケーション能力を高めるのによい機会だと思いました。自分の能力を向上していきたいです。
- ・なかなか海外の人たちと交流する機会がなかったので、とても楽しめました。
- ・新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、このような活動の機会を与えて頂き大変喜んでおります。シンガポール、フィリピンの若者との英語での交流を楽しむと同時に、やりがいのある活動だったと感じております。将来またこのような機会があり、お声がけ頂くことが出来れば光栄です。

5. 参加者の対外発信

	
2021 年 9 月 30 日（Facebook） 本当に素晴らしい講義でした。日本の介護ロボットの活用とロボットの様々なタイプについて学びました。日本が、介護者支援として介護ロボットに着目するようになっていることも学びました。	2021 年 9 月 30 日（Facebook） JENESYS の社会福祉現場における介護ロボットに着目した日本文化交流ウェビナーは非常に本質的な内容でした。とても有意義な時間でした。医療サービスの改善に対する日本の取組や、そのプロセスに新たな技術を導入する様子を学びました。



2021 年 11 月 6 日 (Facebook)

広島大学で国際交流の仕事をしている時にも交流させて頂いた JICE の JENESYS プログラムに、呉工業高等専門学校の学生さんも参加しました。

私は宮島での結婚式の動画を提供しました。

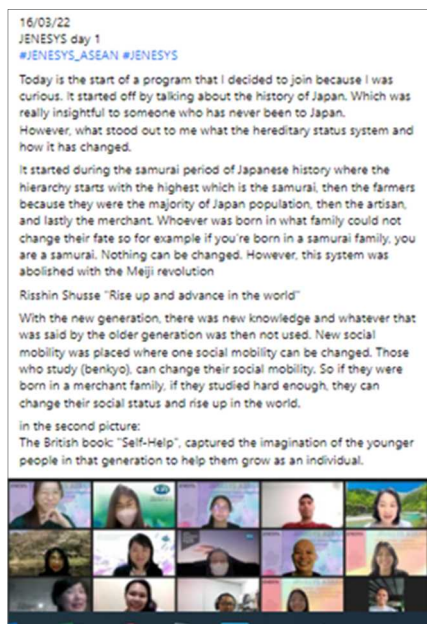


2021 年 11 月 11 日 (Instagram)

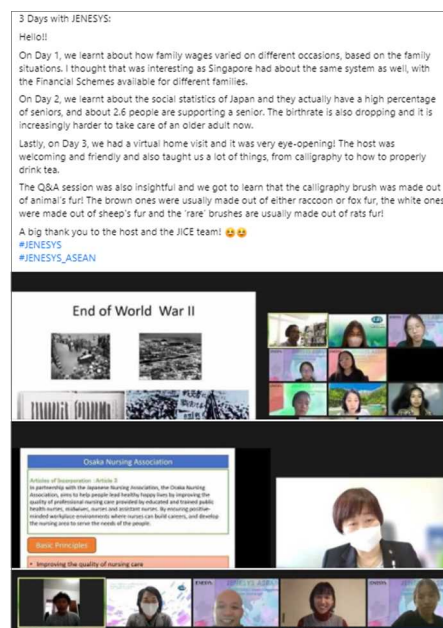
呉工業高等専門学校との間で行われた今年の JENESYS 2021 オンライン交流プログラムに参加させていただきありがとうございました。

私たち全員がとても楽しい時間を過ごし、呉工業高等専門学校の学生たちとの交流を楽しみました。

近いうちにまた皆さんにお会いしたいです。それまで皆さんお身体に気を付けてお元気でいてください。



2022 年 3 月 16 日 (Facebook)



2022 年 3 月 23 日 (Facebook)

興味があつて参加することにしたプログラムが今日始まりました。まずは日本の歴史についての講義でした。日本に行ったことのない者にとっては、多くの学びがあるお話でした。特に印象に残ったのは、階級制度とその変遷です。階級制度は武士の時代から始まり、武士を頂点として、農民、職人、商人という階層がありました。武士の家に生まれると、武士になることが決まっています、自分では階級を変えられないのです。しかし、この制度は明治維新で廃止されました。「立身出世」。

新しい世代になると、新しい知識が増え、前の世代で言われていたことが当てはまらなくなります。社会的階級が流動的になり、個人が自分の社会的地位を変えることができるようになりました。勉強すれば変えることができるのです。つまり、商家に生まれたとしても、一生懸命勉強すれば、その社会的地位を変え、出世することができるのです。

こんにちは。1 日目は、家庭の状況によって給料が変わることを学びました。シンガポールも同様のシステムなので、興味深いと思いました。

2 日目は、日本社会についての統計を学びましたが、日本は高齢者の割合が高く、約 2.6 人で高齢者 1 人を支えているそうです。さらに、少子化が進んでいるため、高齢者を支えるのが難しくなっているそうです。

最後に、3 日目はバーチャルホームビジットを行いました。新鮮な学びがありました。ホストファミリーはとても親切で、書道やお茶の飲み方など、いろいろなことを教えてくれました。質疑応答では、書道の筆が動物の毛で作られていることを教えてもらいました。茶色はタヌキかキツネの毛、白は羊の毛、珍しい筆はネズミの毛でできているそうです。

ホストファミリーの方々と JICE チームの皆さん、本当にありがとうございました。

2021年11月6日（土）

シンガポールの学生とのオンライン交流に参加しました

11月6日にシンガポールのデマセク・ポリテクニクとオンライン交流を行いました。お互いの学校について発表したのち、グループに分かれて広島とシンガポールの観光名所について発表しました。



スクリーンショット(JICEから提供 <https://www.jice.org>)

私は秋に宮島でみられる紅葉の景色について紹介しました。すると向こうの方からもシンガポールで有名なガーデンズポットについて話してもらえました。私たちのグループは伝統的な建物を中心に観光名所として紹介しましたが、シンガポールの紹介してもらったところは世界都市のような光景や、建物のなかに滝があり、花畑が広がっているところなど、近未来的なスポットばかりだったのがとても新鮮で印象に残っています。



交流の様子

今回のプログラムを通して、英語でまだまだ言いたいことがうまく伝えられないと感じました。交流中はできるだけ画面共有で画像を見せ合ったりと試行錯誤しながらもお互いについて学びあうことができ、とてもいい機会となりました。

2021 年 11 月 6 日（呉工業高等専門学校 HP）11 月 6 日にシンガポールのデマセク・ポリテクニクとオンライン交流を行いました。お互いの学校について発表したのち、グループに分かれて広島とシンガポールの観光名所について発表しました。私は秋に宮島でみられる紅葉の景色について紹介しました。すると向こうの方からもシンガポールで有名なガーデンズポットについて話してもらえました。私たちのグループは伝統的な建物を中心に観光名所として紹介しましたが、シンガポールの紹介してもらったところは世界都市のような光景や、建物のなかに滝があり、花畑が広がっているところなど、近未来的なスポットばかりだったのがとても新鮮で印象に残っています。今回のプログラムを通して、英語でまだまだ言いたいことがうまく伝えられないと感じました。交流中はできるだけ画面共有で画像を見せ合ったりと試行錯誤しながらもお互いについて学びあうことができ、とてもいい機会となりました。

6. 最終報告会でのアクション・プランの発表

Our Action Plan (Group C Batch# 30)	
After the program, implement the Action Plan!	
Title: Our Jenesys experience	
WHY : (Reasons to do it)	- Interest in Japan's Healthcare system and what we are going to share. - Share about we've learnt and that we can use the platform to increase knowledge sharing - Because we should have mutual respect to Japan - To promote Japan's Culture. - Promote for future participants who would enjoy the event
WHEN : (Please write the period within 3 months after the program)	By this month
WHO : (Who will do it?)	The team will collectively edit a canva page, and it will be shared on Instagram through TP-GEM's Instagram page.
WHO : (To whom?)	Current GEM friends/students and prospective Jenesys participants
WHAT : (What are you planning to do?)	HOW : (How will you implement your plan?)
To post a post about Jenesys in the Instagram page of GEM-IG by coming up with snippets and post them in the Instagram page and sharing it around.	

「JENESYS で学んだこと」

■ 実施理由：

- ・日本の医療制度やその他に関心があるため
- ・私たちが学んだことを共有し、このプラットフォームを利用して知識の共有を深めるため
- ・日本に対して相互尊重の気持ちを持つべきだから
- ・日本の文化を広めるため
- ・今後の JENESYS プログラムへの参加を促進するため

■ 実施時期：今月中

■ 実施する者：チームメンバー皆でオンラインデザインツールの Canva ページを編集します。

■ ターゲット：現在 GEM(学校の老年学専門グループ)の友人・生徒で JENESYS 参加希望者

実施計画、方法：GEM の Instagram ページで JENESYS に関する記事を投稿し、それをシェアします。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)